



# 带状疱疹



どんな病気？

疱疹とは皮膚の小さなできものことです。その疱疹が帯のように広がって現れる病気が带状疱疹です。原因はヘルペスウイルスで、水ぼうそうと同じウイルスです。

水ぼうそうは多くの人が子供の頃にかかる病気です。水ぼうそう自体は10日ほどで治りますが実は、带状疱疹は水ぼうそうが治った瞬間が始まりとも言えます。水ぼうそうに

感染した時に働くのが免疫で、専用の免疫が作られ、あつという間にウイルスを退治してくれ

ます。その専用の免疫のおかげで、水ぼうそうには2度とかかりません。

ところが、免疫が水ぼうそうのウイルスを退治しても、一部のウイルスは遺伝子の形で体内に潜伏し続けます。その場所が神経細胞が集まった神経節です。潜伏していたウイルスは、免疫の働きが弱くなつた頃を見計らつて再び姿を現し、増殖を繰り返します。それ



長期間にわたつて痛みが続くことがあります。これ

が神経に沿って、神経細胞を傷つけながら皮膚に達するので、带状疱疹に、体の左右どちらか一方に、チクチクするような痛みを伴つて顔、胸から背中、お腹、手足などの部分に赤くなつて現れます。その上に小さな透明の水ぶくれが集まってできま

す。水ぶくれは濁つて黄色くなり、黒褐色のかさぶたになりそのうち消えてなくなりま

す。帯状疱疹の治療は、発しんが現れたら3日以内に抗ウイルス薬での治療を始めると、症状が軽く済むので、痛みと発しんが重なつた時には早めに治療を始める方が早く治ります。素人判断でお薬を使うのは危険な場合もありますので、医師の診察、治療を受けるよ

うにしてください。帯状疱疹は、年齢などによって免疫力が低下して、精神的あるいは肉体的に疲れているときにかかりやすいです。免疫力を回復するために、十分な栄養と睡眠をとるようにしてください。(看護師丸橋 節子)

を带状疱疹後神経痛といい、神経の病気と考えられます。このような場合は神経ブロックという局所麻酔薬を使います。これによって一時的に神経を麻痺させ、痛みの回路ができることを阻害します。帯状疱疹の治療は、発しんが現れたら3日以内に抗ウイルス薬での治療を始めると、症状が軽く済むので、痛みと発しんが重なつた時には早めに治療を始める方が早く治ります。素人判断でお薬を使うのは危険な場合もありますので、医師の診察、治療を受けるよ



うにしてください。帯状疱疹は、ほとんどうつることはありませんが、水ぼうそうにかか

たことのない人はうつることがあります。この場合带状疱疹としてではなく、水ぼうそうとして症状がでますので、小さな子供にはできるだけ接触しないように注意しましょう。帯状疱疹は、年齢などによって免疫力が低下して、精神的あるいは肉体的に疲れているときにかかりやすいです。免疫力を回復するために、十分な栄養と睡眠をとるようにしてください。(看護師丸橋 節子)